

## KTC 12.7sq.スタンダード型パワラチェ (JAR407A) 取扱説明書

このたびは、**KTC** エアツールをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
当製品は、**KTC** ブランドがつくり出した品質の高いエアツールです。より安全に、より永くお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みいただき、注意事項や使用方法などをご理解の上、正しくお使い下さい。また、お読みになった後もこの取扱説明書は、大切に保管して下さい。



### ●特徴

- ・オリジナル設計による優れた出力と安定したパワー。
- ・厳選された部品と高精度加工による耐久性の向上。
- ・滑り止め効果の高い、コーングリップ形状。
- ・360度回転の排気で、作業に応じて排気位置を自由に設定。
- ・操作しやすい形状のスロットルレバー。
- ・手元レギュレータによる回転微調整ができ、締緩

### ●諸元

	JAR407A
ドライブ角	12.7sq. (1/2sq.)
能力ボルト径	M12
無負荷回転数	160 rpm
重量	1.13kg
使用空気圧	0.63MPa (6.3kgf/cm <sup>2</sup> )
無負荷空気消費量	0.5 <sup>3</sup> /min
エアインレット	PT1/4"
使用エアホース内径	8mm

### ●使用方法

- ①使用目的に適合した先端工具（ソケット等）をドライブ角に正しく取り付けて下さい。
- ②適正なエア圧に接続して使用して下さい（エアホースカブラを取り付ける）。  
\*エア圧は0.6~0.7MPa (6~7kgf/cm<sup>2</sup>) で使用して下さい。0.63MPa (6.3kgf/cm<sup>2</sup>) が最適条件。
- ③回転方向を確認、パワー調整をレギュレータで調整して下さい。  
\*時計方向（右回転）で使用する場合は、チェンジレバーを左側に、左回転は右側に回して下さい。  
\*レギュレータノブを（反時計方向）に回すほど流量が増え、パワーが大きくなります。適正な位置に止めて使用して下さい。
- ④ボルトナットに先端工具（ソケット等）を確実にセットして下さい。
- ⑤ボルトナットを緩める場合は、最初に手力で少し緩めてからエアを使うようにして下さい。  
締める場合は、エアで早回しした後、手力又はトルクレンチで所定のトルクを締めて下さい。
- ⑥スロットルレバーはゆっくりと握って下さい。  
\*作動始めまたは終わりに、反動がくるので本体をしっかり持ち、注意してレバーを操作して下さい。
- ⑦レバーをはなすとエア圧が遮断され、回転が停止します。

製造国：日本国

京都機械工具株式会社  
〒613-0034 京都府久世郡久御山町佐山新開地128  
URL <http://www.ktc.co.jp/>

本製品の問い合わせは、お客様窓口又は下記営業所までお寄せ下さい。

支店 TEL/東京 03(3752)2261/名古屋 052(882)6671/近畿 0774(46)3711  
営業所 TEL/札幌 011(824)0765/仙台 022(231)6322/金沢 076(291)4546  
/広島 082(273)0202/福岡 092(441)5637/四国 087(869)4474

お客様窓口  
(弊社休業日を除く 9:00~12:00/13:00~17:00)  
TEL/0774-46-4159  
Email/support@kyototool.co.jp

※仕様及び外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

500 KTC

**警告** この表示を無視して、誤った取扱をすると、作業者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

**注意** この表示を無視して、誤った取扱をすると、作業者が障害を負う可能性が想定される内容、および 物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

### 警告

- ・本機を改造しないでください。また、本来の使用目的以外には使用しないでください。
- ・機種能力を超えた無理な使い方はしないで下さい。
- ・無理な姿勢で作業しないで下さい。常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにして下さい。
- ・作業中は安全のため、保護めがね、耳栓、安全帽、防塵マスク、安全靴などを着用して下さい。
- ・目的や環境に応じた服装で作業して下さい。長い髪の毛やアクセサリーなども注意して下さい。
- ・ソケットなど先端工具の交換はエアホース（カブラ）を外して行って下さい。
- ・本機に装着するアクセサリやソケットなど先端工具は規定の物を使用して下さい。
- ・作業を始める時は、先端工具などがしっかり取り付いている事を確認して下さい。
- ・回転している先端工具や駆動部分には触れないようにして下さい。
- ・エアツールはスイッチをオフにしても、しばらく回転しますので注意して下さい。
- ・作業前に本機の各部に亀裂や異音など異常がないことを確認して下さい。
- ・作業中に本機に異常を感じたら、直ちに使用を中止して点検し、必要に応じて修理を依頼して下さい。
- ・エア圧は0.7MPa (7kgf/cm<sup>2</sup>) 以下で使用して下さい。0.63MPa (6.3kgf/cm<sup>2</sup>) が最適条件です。
- ・圧縮空気以外を動力源にしないで下さい。酸素やプロパンガスなどの高圧ガスを使用しないで下さい。
- ・エアホース（カブラなど）は確実に取り付けて下さい。エアホースが外れるとホースが飛び跳ねます。
- ・作業対象物は確実に保持して作業して下さい。
- ・ガソリン、ガスなど引火性の高い危険物の近くでは作業しないで下さい。
- ・エアラチェットは、緩め始めや締め終わりに反動が来るので注意して下さい。

### 注意

- ・安定した性能を維持してご使用いただくために、定期的に保守点検をして下さい。
- ・使用圧縮空気は清浄で乾燥したものを使用して下さい。
- ・本機は精密な部品も使われています。投げたり落としたり、ホースを持って引きずったりするなど乱雑に扱わないで下さい。
- ・空回転をしないで下さい。摩耗を早めたり、故障の原因になります。
- ・異常劣化させないために、連続フルパワーは1分以上掛けないようにして下さい。
- ・使用後はインレット部よりオイルを数滴注油して下さい。
- ・使用後は、エア取り入れ口からほこりやゴミなどが入らないようにして下さい。
- ・保守パーツは当社の指定品を使用して下さい。
- ・修理は販売店または当社支店・営業所に相談下さい。

### ●エアについて

- ・エアツールの性能を十分に発揮させるには、常に清浄で乾燥した規定圧の圧縮空気が必要です。
- ・配管には3点セット（フィルター、レギュレータ・オイル）を使用して下さい。
- ・コンプレッサや配管は定期的に点検清掃し、ドレインや水分を除去して下さい。
- ・使用機器全体の必要エア量に応じたコンプレッサ、配管、ホースにしてください。
- ・ホースは老化していないものを使用して下さい。
- ・ホースや配管などは長くなりますと、かなりの空気圧損失があります。
- ・付属のエアカブラをご使用下さい。他のものをお使いになりますと、エア漏れ、トルク低下の原因となります。

### トラブルシューティング

#### 動かない場合

- エアツールのスイッチは正常ですか。
- エアホースに接続されていますか。
- エアは来ていますか。
- エアコンプレッサは正常に稼働していますか。
- チェンジレバーは正しい位置にセットされていますか。
- 緩める場合は初期力を手動で緩めていますか。

#### 本来のパワーが得られない場合

- エア圧は適正範囲内ですか。
- エアホースの内径は適正ですか。
- エア消費量（他のエア機器との消費量合計）に対し、エアコンプレッサの能力は十分ですか。
- レギュレータは適正に調整されていますか。
- ラチェットの空転トルクは適正ですか。

以上をご確認されても正常にならない場合は、お買い上げの販売店または次ページのお問い合わせ先にご相談下さい。